I-O DATA　　DVDミレルシリーズ

必ずお読みください

- レシートや納品書を大切に保管してください。レシートや納品書などご購入日を証明するものが、修理の際に必要になります。
- 本製品に搭載されている機能やサービスのうち第三者が提供するもの（Gracenote等）は、変更、停止、終了等する場合がございます。また、本製品の機能や仕様に関して予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。
- CDブックレットサービスで表示のアーティスト情報、ニュース、アルバム情報やディスコグラフィ画像は、CDJournalのデータベースを利用して表示しています。各情報に関して、その正確性を当社が保証するものではありません。また、情報が登録されていない場合があります。

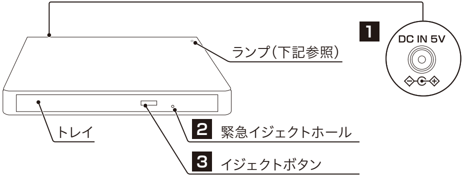
ⓘ 本マニュアル内での呼び方

ドライブ・・・本製品のドライブ本体のこと

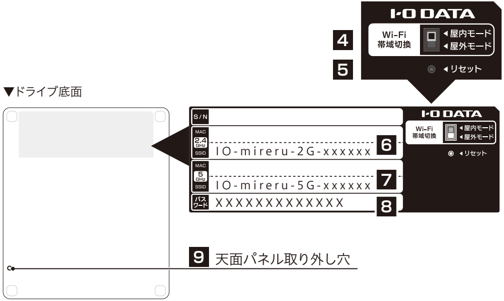
※ 本製品の機能や仕様に関して予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

MANU000575

各部の名前と機能



▼ドライブ底面



ランプ	
黄点灯	屋外モード（2.4GHz帯）で使用中
黄点滅	屋外モード（2.4GHz帯）で起動中、または2.4GHz帯でWPS接続中
白点灯	屋内モード（2.4GHz/5GHz帯）で使用中
白点滅	屋内モード（2.4GHz/5GHz帯）で起動中、または2.4GHz/5GHz帯でWPS接続中
青点滅	ファームウェアアップデート中
消灯	電源オフ

各部の名前と機能（つづき）

1	DC IN		添付のACアダプターや対応接続ケーブル（別売）をつなぎます。 ※ 対応接続ケーブルおよび対応モバイルバッテリーについては、右記「対応モバイルバッテリー」参照 ※ 添付のACアダプター、または右記対応接続ケーブル以外を使うと、発熱、発煙、発火、感電、故障の原因となりますので、使わないでください。モバイルバッテリーを使う場合は、必ず対応接続ケーブルを使用してください。
2	緊急イジェクトホール		トレイが開かなくなった場合に針金などを挿します。
3	イジェクトボタン		トレイを開きます。
4	Wi-Fi帯域切換スイッチ	屋内モード（初期設定）	ドライブを屋内で使用する際に設定してください。接続したSSIDの周波数帯（2.4GHz/5GHz）で動作します。 ※ 5GHz帯のSSID（IO-mireru-5G-xxxxxx）を選択した場合、2.4GHz帯と比較して 取り込み速度が速くなる場合があります。 ※ 下記「本製品の［屋内モード］は、屋外で使用しないでください」参照
		屋外モード	ドライブを屋外で使用する際に設定してください。2.4GHz帯で動作します。
5	リセット		針金など先の細いもので約1秒押すと、本製品を出荷時設定状態に戻します。（ドライブの電源を入れた状態でおこなってください）
6	2.4GHzSSID		ドライブの2.4GHz帯のSSID（初期値）です。
7	5GHzSSID		ドライブの5GHz帯のSSID（初期値）です。
8	パスワード		ドライブのパスワード（暗号キー）です。（初期値） 2.4GHz帯、5GHz帯でパスワードは共通です。
9	天面パネル取り外し穴		着せかえパネル（別売）に着せかえる際に使用します。 ※ 着せかえ方法は、着せかえパネル（別売）に添付の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 本製品の［屋内モード］は、屋外で使用しないでください

［屋内モード］の5GHz帯のW52（36,40,44,48ch）は、法令により屋外で使用することは禁止されています。（5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合は除く）
本製品を屋外で使用する場合は、［屋外モード］（2.4GHz帯）をご利用ください。

対応モバイルバッテリー

（2020年08月現在）

モバイルバッテリーを使う場合は、必ず対応接続ケーブルをご使用ください。

対応モバイルバッテリー※1、2	出力5Vで2.0A以上のモバイルバッテリー※3、4
対応接続ケーブル※5	添付の接続ケーブル、または弊社製「ISCB-CD100K」

※1 添付のACアダプター、または対応接続ケーブル以外を使うと、発熱、発煙、発火、感電、故障の原因となりますので、使わないでください。モバイルバッテリーを使う場合は、必ず対応接続ケーブルを使用してください。

※2 バッテリーを満充電してからCDの取り込み/書き込みをおこなってください。充電が足りないとCDの取り込み/書き込みに失敗するおそれがあります。一度、書き込みに失敗したCD-Rメディアはご利用いただけません。

※3 対応接続ケーブル（別売）および対応モバイルバッテリー（別売）については、以下の製品ページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/pio/io/smartphone/cdreco/cdreco_battery.htm

※4 上記仕様のモバイルバッテリーのすべてを動作保証するものではありません。

※5 延長ケーブルは、電圧が不安定となるためご利用いただけません。

ⓘ DVD再生時間の目安

ANKER社製「PowerCore 5000」を満充電した場合、約4時間、DVD再生が可能です。なお、数値は下記測定環境で得られた結果です。必ずしも同様の結果が得られることを保証するものではありませんので、ご了承ください。（当社調べ、2017年8月現在）
【使用端末】iPad Pro　【OS】iOS 11　【アプリ】DVDミレル

⚠ 自動車内での使用について

- 本製品を車内で使用するには、別売りのモバイルバッテリーで電源供給してください。その際、必ず対応の接続ケーブルを使用してください。指定品以外のものを使用すると、発熱、発煙、発火、感電、故障の原因となりますので使用しないでください。
- 本製品を車内で使用した場合、自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与える場合があります。自動車内で使用する際は充分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。
- 本製品を車内に放置しないでください。特に直射日光のあたるところには置かないでください。また、寒い車内を急に暖めると本製品に結露が発生し故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本製品を車内で使用した場合、本製品および対応モバイルバッテリーの温度が、動作温度の上限を超える可能性があります。使用時には十分にご注意ください。

仕様

読み込み対応フォーマット	【CDレコミュージック】CD-DA（Audio CD）、ISO9660 【DVDミレル】DVD-Video（MPEG-2） ※ 地デジ番組など著作権保護信号を含む映像を録画したDVDメディア（VRモード）は再生できません。
読み込み対応メディア	CD-ROM、音楽用CD-R、音楽用CD-RW、DVD-R、DVD-RW
書き込み対応フォーマット	CD-DA（Audio CD）、ISO9660
書き込み対応メディア	音楽用CD-R、音楽用CD-RW、DVD-R、DVD-RW
取り込みファイル形式	AAC、FLAC
設置条件	設置方向：水平
ディスクローディング方式	トレイタイプ
電源仕様	AC100V、50/60Hz
消費電力	7.2W（Typ）
外形寸法/質量	約145（W）×168（D）×17（H）mm（突起部除く）/約400g（本体のみ）
使用温度範囲/使用湿度範囲	+5～+35℃ / 20%～80%（結露無きこと）
無線LAN規格	IEEE802.11ac/n/a/g/b
無線周波数	2.4GHz帯、5GHz帯（W52）
無線チャンネル	【2.4GHz帯】1～13ch 【5GHz帯】W52（36,40,44,48ch）
無線セキュリティ	WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）
規格・法規制	電波法 工事設計認証（内蔵無線設備）、VCCI Class B、電気用品安全法（ACアダプター）
添付品	取扱説明書、ACアダプター、モバイルバッテリー接続ケーブル（USB A オス⇔DCプラグ 約20cm）、バックアップ用DVDメディア

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⊘	禁止
❗	指示を守る

⚠ 警告

⊘ 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⊘ 内部をのぞき込まない
内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こすおそれがあります。

⊘ 雷が鳴り出したら本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

⊘ ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
●お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
●水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
●万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

⊘ 本製品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

⊘ 本製品の周辺に放熱を妨げるようなものを置かない
発火の原因になります。

⊘ 故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

⊘ 本製品を病院内で使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

⊘ 本製品を飛行機の中で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピューターから本製品を取り外してください。

❗ ペースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の近くで使用しない
ペースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の動作に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

安全のために（つづき）

⚠ 警告（つづき）

ダッシュボードの上や夏場の車内など高温になる場所に設置や放置をしない
高温になり、発火の原因になります。

運転者は走行中に本製品を操作しない
走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因になりますので、絶対におやめください。また、走行中に本製品が動かないようにしっかりと固定してください。使うときは、先に安全な場所に車を止めてください。

本製品を以下のような場所に設置しない
事故の原因になります。
●運転や移動の妨げになるところ
●エアバッグ動作の妨げになるところ
●前方の視界を妨げるところ
●夜間トンネル内などで本製品の画面がフロントガラスに映り込むようなところ（前方の視界の妨げになります）

ものをのせる、踏みつける、落下させるなど、強い力や衝撃を与えない
本製品にはガラスが使用されています。無理な力や強い衝撃を与えないでください。発火や感電、故障、けがの原因になります。

破損したまま使用しない
発火や感電、故障、けがの原因になります。

▼ 電源について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
発熱、発煙、発火、感電、故障の原因となりますので、指定品以外のものは使用しないでください。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱のおそれがあります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷がつき、発火や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

安全のために（つづき）

⚠ 警告（つづき）

▼ 電源について

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）　トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

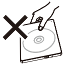
▼ 電源について

人が通行する場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

使用上のご注意

- ランプ点滅中に電源を切ったり、スマートフォン/タブレットをリセットしないでください。データが消失したり、故障の原因になります。
- スマートフォン/タブレットに保存した重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。
- レンズには触れないでください。音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。
- 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。
- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかくきれいな布で乾拭きしてください。
  ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
  ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。
- メディアの取り扱いについて、以下をお守りください。
  ・メディアを直接持つときは光沢のある場所に触らず、両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。
  ・メディアに紙やシールなどを貼らないでください。
  ・ひびの入ったメディアや反ってしまったメディアは絶対に使用しないでください。また、割れたメディアをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるメディアは危険です。
  ・メディアに異物が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。
  ・トレイを手前に引き、メディアをセットしてください。正しくセットされていないとメディアに傷がつく場合があります。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。メディアに傷がついたり、故障の原因となります。



- 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
  - ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
  - 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
  - 電子レンジやコードレス電話等の電化製品
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）

  上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- 無線LANやBluetoothなどで使用する2.4GHz帯は、USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで動作させると影響を受け、通信が遅くなったり、通信が切れてしまうことがあります。
  - USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで、本製品をできるだけ使用しないでください。
  - 5GHz帯の無線LANを利用可能な場合は、5GHz帯をご利用ください。
- 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。
  本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。スチールラックなどの金属物の上や近傍に設置して使用した場合も、通信速度が低下したり、通信が切断される場合があります。

使用上のご注意（つづき）

- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11gで通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。
  変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- 5GHz帯で使用するチャンネルは36,40,44,44ch（W52）です。34,38,42,46ch（J52）と52,56,60,64ch（W53）と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）の装置との通信はできません。
- ケーブルおよびACアダプターは、添付品または指定品のもの以外を使わないでください。
- 添付のケーブルおよびACアダプターを他の機器につながないでください。本製品専用です。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
当社の無線LAN製品は出荷時状態ではセキュリティに関する設定がされていますが、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについてお客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをお奨めします。
※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **1年間** 、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

ハードウェア保証規定（つづき）

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービス

DVDミレルアプリのお問い合わせ方法

株式会社sMedioテクニカルサポートへお問い合わせください

FAQ ▶ **http://www.smedio.co.jp/support/**
メール ▶ **support@smedio.co.jp**

ドライブやCDレコミュージックアプリのお問い合わせ方法

お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

①「詳細ガイド」を参照
②「商品Q&A」を参照
③最新のソフトウェアをダウンロード

https://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

050-3137-1652

受付 9:00～17:00 月～日曜日
（年末年始・夏期休業期間をのぞく）
※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/smartphone

ⓘ ペイバックシステムについて

「ペイバック保証」は、ご購入後、2週間以内に弊社サポートセンターへご相談いただいたにも関わらずネットワーク接続ができなかった場合、当社が直接、購入代金をご返金するサポートシステムです。詳細は弊社Webページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/payback/

重要

- ●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- ●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

修理を依頼する方法

保証期間 **1** 年間

以下を梱包し修理センターへお送りください

●本製品
●レシート、納品書など購入日を示すもの
●修理依頼書（下記URLで印刷）
※名前・住所・TEL・FAX・E-Mail・症状を書いたメモでも可

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※事前連絡は不要です。
※修理の流れ、費用や納期の目安などもこちらでご確認いただけます。
なお、有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。（見積無料）
※修理依頼書はここから印刷できます。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

【著作権・肖像権について】

お客様が本商品を利用して取り込んだ音楽やインターネット上からのダウンロードなどにより取得した文章、また撮影して取り込んだ画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的による複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製や改変、公衆送信などをすることはできません。なお実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても取り込みなどを制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本人同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影しした他人の肖像を本人の同意なしに不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

＜ご注意＞

・本商品はGracenote®のGracenote MusicID技術を採用しております。
・楽曲情報の自動ダウンロード機能に関しましては、お客様へ事前に告知する事無く、停止もしくは中止または機能の変更をする場合がございます。
・楽曲情報の提供事業者の事情により、提供事業者を予告なく変更する可能性がございます。
・楽曲情報取得に関しまして、CDによっては情報登録されていない場合がございます。

＜Gracenote®による音楽認識サービスに関しまして＞

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。詳細に関しましては、Garacenote®社のホームページをご覧下さい。また取得した情報に関しましては個人的かつ非商業的な使用にとどめて下さい。Gracenote 及び Gracenote MusicID 、Gracenote ロゴとロゴタイプ、Powered by Gracenoteは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。一部コンテンツの著作権はグレースノートもしくはコンテンツプロバイターに帰属します。

【オープンソースライセンスについて】

本製品には、オープンソースライセンスに基づいたソフトウェアが含まれています。対象バイナリ及び各ライセンスの詳細につきましては、本製品内部に含まれる内容を参照してください。
ソースコードの開示が義務付けられているソフトウェアについては、製品サポート窓口（https://www.iodata.jp/support/）へお問い合わせください。再配布されるソースコードについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ユーザー登録はこちら】･･･https://ioportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。（例：ABC1234567ZX）

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【本製品の廃棄について】

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【ご注意】

1）本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2）本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3）本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。（This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.）
4）私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5）著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
6）本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

よりよいマニュアル作りのため、
お気づきの点がございましたらご
意見をお寄せください。